

No. 01

Special Report.

Builder:

菱田工務店

Note:

松本市/T邸
家族構成/3人

今あるものの尊さを生かす暮らし

周囲の自然とのつながりと

人と人との意味あるつながりを大切にして

今あるものを生かしながら暮らしたいと願い

その家族が建てたのは

ベルギー民家になった美しい住まいでした。

THE TIMBER



背後の森と一つとなるように立つT邸。ベルギーの民家の建て方に学び、自然の木の形をそのまま生かして組み上げている。「チャーチ」と名付けた吹き抜けには天井から床まで一面に窓を設けた。鉄平石を敷いた場所には薪ストーブを置く予定。

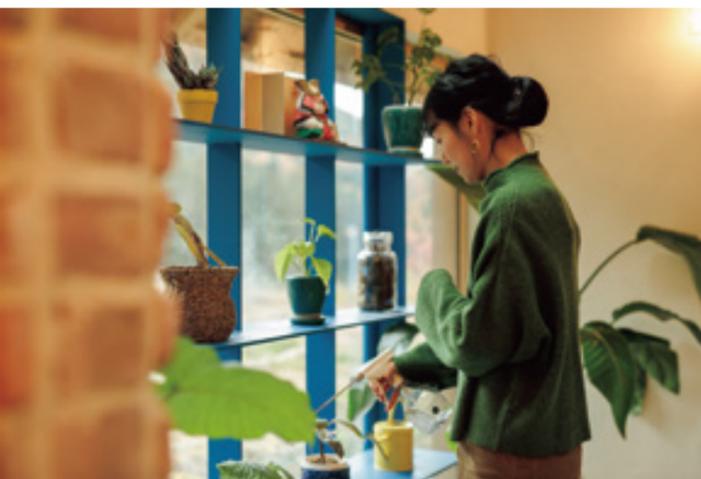


受け継がれたものへの
敬意ゆえに美しい家

そのお宅は、松本平周辺の、もうこの先には人家がない、森の際にありました。東の窓からは美ヶ原や松本市街地が見渡せます。Tさん家族3人がこの家で暮らして1年が経ちました。コロナ禍のため在宅で仕事をすることが多くなり、東京にいる意味がないと感じた夫妻が信州に移住したのは2021年2月のこと。仕事でたびたび訪れていた松本の、アルプスの眺め、空気、文化度、

人の穏やかさにも惹かれたからです。しばらく街中で暮らし、奥様の妊娠を機に土地を探して、この場所と出会いました。畑や森も含め広さは1万4千㎡あります。家づくりは菱田工務店に託しました。ベースであるベルギーの伝統的な民家と日本の大工の手仕事に対して、敬意を込めてつくられた同社のティンバーの家が、とても美しいと感じられたからです。





観葉植物が好きな奥様のため、玄関を入ったところにグリーンハウスを設けた。トップライトからたっぷり光が注ぐ。レンガと鉄平石で内装を仕上げ、外と内の中間領域のよう。

周りの自然とつながり、
そのリズムに合わせる心地よさ

家づくりの際、夫妻が大切に
したことは二つ。それは自然と
つながった暮らしと、コミュニ
ティとつながった暮らしです。

敷地の多くを占めるのが背後
の森林で、たとえば家族が
「チャーチ」と呼ぶ吹き抜け空間
では、天井から床まで開けた北
窓に、家のシンボルツリーのよ

うな大杉が映ります。2階のデッ
キに出れば森の息吹をすぐそこ
に感じます。玄関側では、秋に
たくさんの実りをくれる栗の大
木や季節の花を咲かせる木々が、
この山里の一角を賑わせます。
そしてこの家を建てるときには、
その森の木を伐り出してチャー
チのFIX窓などに、また大黒

柱には解体した古屋の材を使い
ました。

畑では野菜や果樹をつくりま
す。土と触れ合うと、匂の味も
いっそう格別に思えました。収
穫物でコンポートや漬け物をつ
くる季節の手仕事も増えました。
「四季の移ろいも時間の流れも周
りの自然が教えてくれるから、カ

レンダーや時計を見なくていい。
そうして自然のリズムに合わせ
るのが心地いいです」

T邸は、まるで山の中に間借
りしているかの佇まいです。貸
主である周囲の森への賃料は、
その自然を頼む心でしょう。



天井の梁の自然の木のラフさに心が和むリビング。朝日が昇る美ヶ原を見晴らす東側に大開口を設けた。西側にはわが家の森が寄り添っている。床はクリ材。同じ長さの木材を整然と並べ、繋ぎ目に床材を差し込む「大陸張り」にしている。

ブルーのソイルペイントを施したモールドックスの造作キッチンには、壁にあしらったタイルも手伝って鮮やかで可愛らしく、木部の素朴さとの相性もいい。窓の多い家だが、サッシにはペアガラスを用い、北海道の並みの断熱性能を備える。暖房には床暖房を採用した。

福社の仕事に長く携わってきたご主人は、シニアの健康にとって日ごろ誰かと顔を合わせて会話することがどれほど大切かをよく知っています。また、子育てにも家族以外の第三者がいて、三角の人間関係をつくるのが大事だと奥様は話します。二人は今、シニアの心身の健康向上を目指すオンライン会話サービスに取り組んでいます。ゲストハウスや季節の手仕事のワークショップを始める計画もあります。人と人との意味のあるつながりを、この場所からつくりだすために。

つくり方を教えてくれたりします。いつも会いしても毎日に張り合いをもって生きている様子のご近所さんを、夫妻の息子さんは「じいじ、ばあば」と呼んで、すっかり慕っています。

辺りは古くからの集落で、T邸の周りにもご近所さんがいます。ここへ移った当日、早速お隣さんが白菜を持って訪ねてくれました。どんな人が暮らし始めるのか興味半分、越したばかりで用意のないことへの心遣いが半分、だったかもしれません。今でも、丹精込めたリンゴを分けてくれたり、こんにゃく芋を持ってきて手づくりこんにゃくにゃく

人と人の意味あるつながりをこの場所からつくる

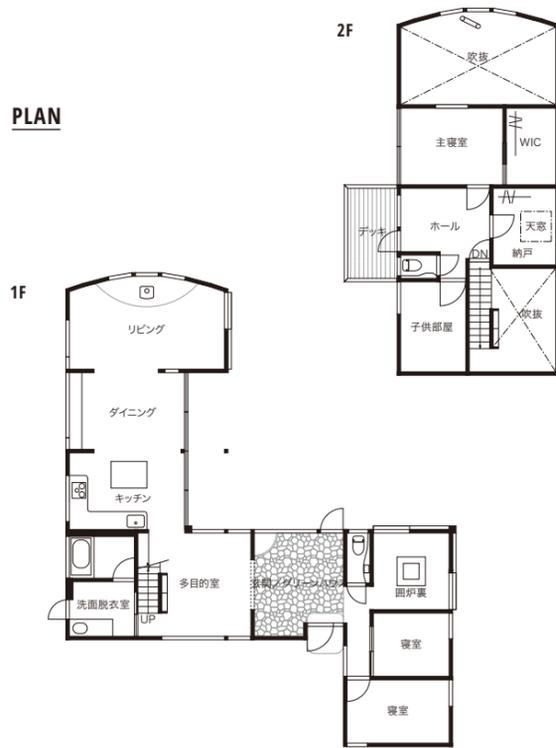


DATA

敷地面積 — 1,984.15㎡ (599.01坪)
 延床面積 — 179.57㎡ (54.21坪)
 1F面積 — 122.82㎡ (37.08坪)
 2F面積 — 56.75㎡ (17.13坪)
 デッキ面積 — 13.90㎡ (4.20坪) ※1階土間・2階デッキ含む

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:スギ・クリほか、梁:ペイマツ・クリほか、土台:ヒノキ、その他:施主所有の山から切り出した樹木も使用 断熱材/屋根:グラスウール・ネオマフォーム、壁:グラスウール・スタイロフォーム、基礎:スタイロフォーム 主な外装仕上げ/屋根:アスファルトシングル、外壁:土壁掻き落とし 主な内装仕上げ/天井・壁:ソイルペイント・漆喰、床:クリ(大陸張り)・スギ・鉄平石 開口部/アルミ樹脂複合サッシ Low-Eペアガラス(アルゴンガス入り)、造作木製サッシ Low-Eペアガラス(アルゴンガス入り) キッチン/造作キッチン キッチン熱源/IHクッキングヒーター バスルーム/造作バス 暖房の種類/薪ストーブ・床暖房

PLAN



現代の住まいに囲炉裏を取り入れることの意味

工邸には囲炉裏を切った部屋があります。白川郷に旅したとき、囲炉裏を囲んで過ごす時間の心地よさに驚いたご主人が、ぜひわが家にも、と設えました。離れのように静かで、2面の窓からは森や美ヶ原の山が望め、ゲストをもてなすのにも、家族で食事をするのにも素敵な空間です。

その尊さはまた受け継がれます。菱田工務店のティンバーの家のまま使って建てる家の心地よさを認め、こうして日本の今に生み出すことで、ベルギー民家の魅力は住み継がれます。木を使う大工の技も残ります。家も自然もコミュニティも、今あるものを生かすこと。その信念が地に着いていると、生活の質はきつと豊かになるのです。

横長の窓が2面にあるのが囲炉裏の部屋。他の部屋と異なり、和の空間の落ち着きと安らぎを醸し出している。ソイルペイントでイエローに塗った壁と階段下の収納のデザインがメルヘンチック。息子さんが童話の主人公のよう。ソイルペイントは寝室や子供部屋でも色を変えて使っている。

